

2015年4月25日

ネパール震災の支援報告と現況

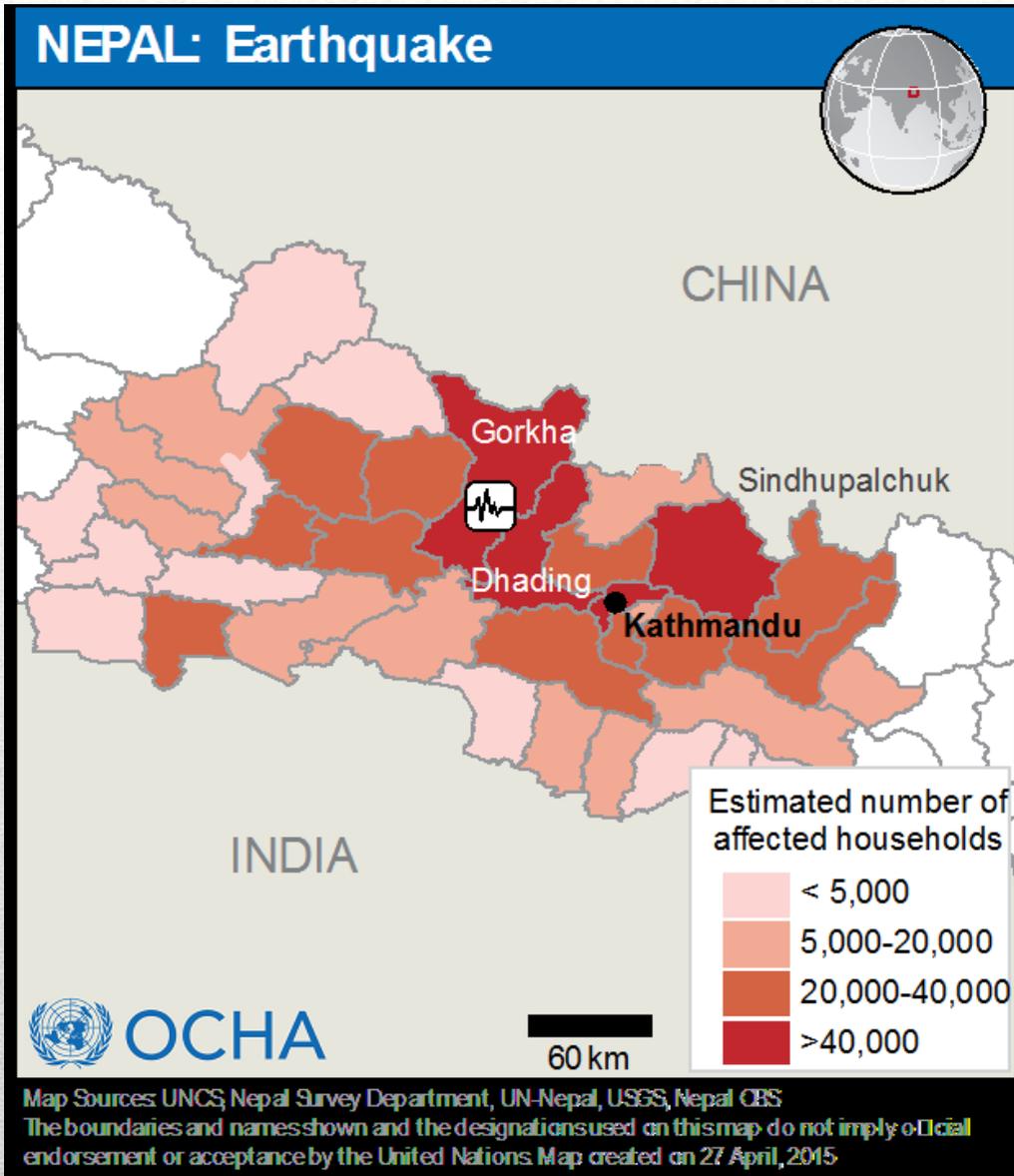


NPO法人インターナショナル・ラブ・フォー・オール協会

我々は翌日4月26日に理事・会員に本来の事業の予定変更、
ならびにネパールの状況を報告するとともに、
28日にはネパール支援を最優先事項とし、活動を開始しました。



NGO ILFA Association



震源地は
カトマンズ北西77Km
深度15Km
地震動はメルカリ震度階級で
カトマンズがIX
バラトプル、ビラートナガルでVIII
が報告されている





ネパール政府は救助隊が十分と判断し、他国の救助隊の受け入れ中止を発表



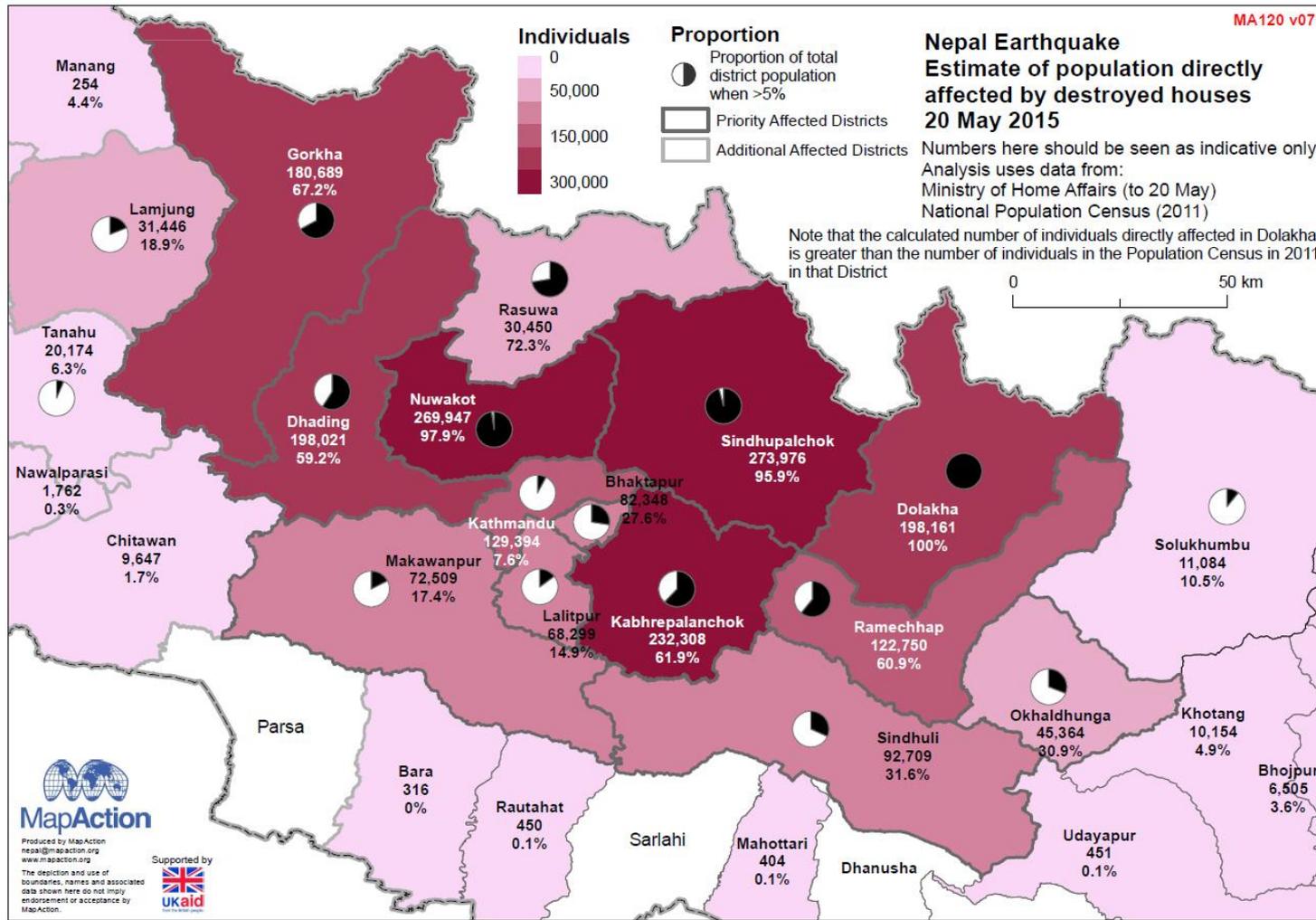
5月3日までの死者数 8460人



NGO ILFA Association

家屋の倒壊状況

MA120 v07



家屋倒壊状況



我々は現地の友人を介し、
画像を入手



家屋倒壊状況



5月4日
外国救助隊、活動終了
(34か国)



同国政府は「首都カトマンズ周辺における生存者の捜索と救助活動はほぼ完了した。残る地域は主にネパール警察と軍で行い、今後は被災者への支援物資配布などの救援活動を優先させる」と説明。

これを受け、日本の国際緊急援助隊・救助チームは地元警察の要請を受けて数日間は遺体捜索などを続け、その後帰国するとして



ネパールの世界遺産の9割以上が倒壊もしくは損傷





NGO ILFA



NGO ILFA



NGO ILFA

5月5日になってようやく日本の援助物資到着
我々の法人にも衣類、毛布、医療品などの物資が
寄せられました。



我々の取った対策 ① 現場状況の把握



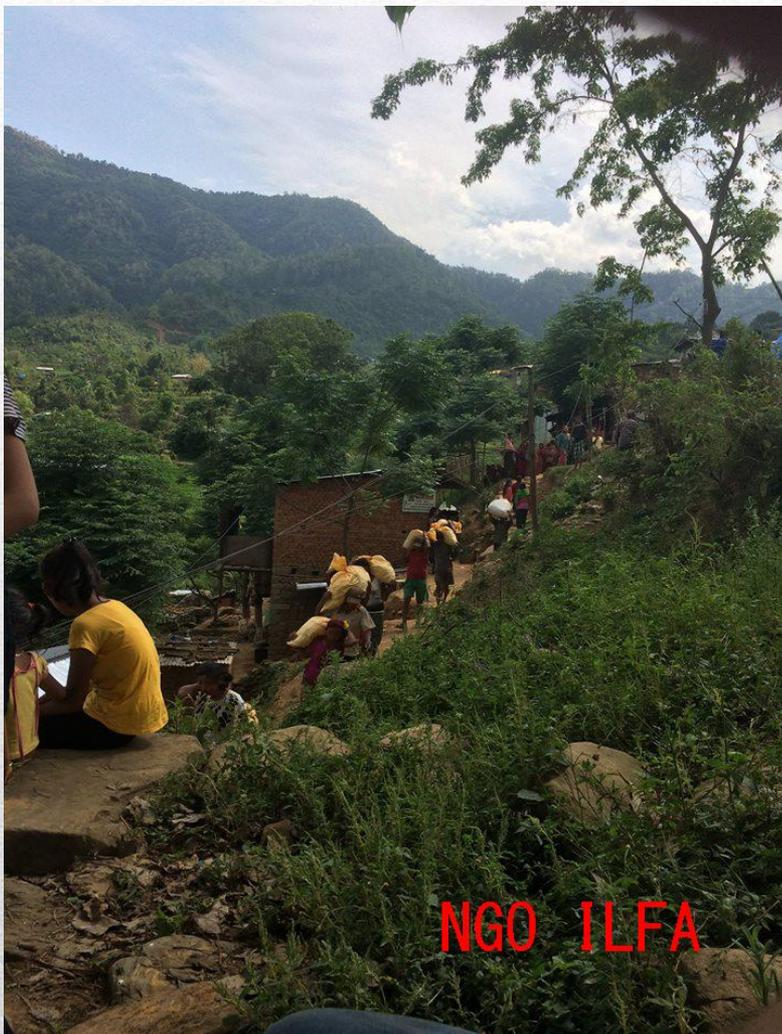
物資輸送には25kgで9万円弱かかることを踏まえて、
現地友人を介し、
サポートすることに変更致しました。





現地では豪雨が続き、あられも降っており、夜間は当然電気もありません。





5月12日 M7.3の余震 42人死亡



その後の状況 食料の確保



その後の状況 寝る場所の確保





モンスーンに備えた仮設住宅の建設（政府支援の行き届かない僻地）



支援団体一覧

